

1 研究主題

「自ら未来を拓き、ともに生きる豊かな社会を創る日本人の育成を目指す学校教育の推進」
～ふるさとに誇りと愛着をもち ともに未来社会の創造に挑戦する空知の子どもを育てる学校経営～

2 研究推進の概要

- (1) 研究主題の解明のため、市町校長会や共同研究ブロックとの一層の連携強化と校長会研究大会の内容の充実を図る。
- (2) 研究大会は、その趣旨を重んじるとともに、組織力のさらなる向上を目指し、全会員会同で開催し、研修活動の活発化に努める。

3 研究の成果と課題

○成果

- ・ 令和5年度より、研究基本構想「第7次3か年計画」（令和5～8年度）を根幹として、以下に記載する5つの事項を重視し、とりわけ、校長のリーダーシップを視点とした積極的な研究・実践をスタートさせた。

- | | | |
|----------|---------|-----------------------------|
| 第1分科会協議題 | 《学校経営》 | 主題：創意と活力のある学校経営ビジョンの実現 |
| 第2分科会協議題 | 《教育課程》 | 主題：質的向上を目指すカリキュラム・マネジメントの実現 |
| 第3分科会協議題 | 《指導・育成》 | 主題：教職員の資質向上を担う協働体制の実現 |
| 第4分科会協議題 | 《危機管理》 | 主題：安全・安心を目指す学校の実現 |
| 第5分科会協議題 | 《教育課題》 | 主題：自立と共生に向けた教育活動の実現 |

- ・ 取組は管内を15のブロックに分け、共同研究の形で推進した。
 - ・ 共同研究ブロック毎の実践研究は、研究大会における提言として分科会ごとに発表した。
 - ・ 各分科会のまとめは、研修だよりや会報において「研修の成果」として掲載している。
- ※5年ぶりに全会員会同での研究大会を開催することができ、提言を基にした各市町や各学校の実践発表と意見交流を通して、「成果と校長のかかわり」や「課題と今後の方向性」について協議を深めることができた。

○課題

- ・ 次年度は、第67回北海道小学校長会教育研究空知・岩見沢大会のため、管内全体としての研修が11月まで中断されることから、ブロックや地域・各学校での主体的な研修を中心に進めていく。
- ・ 研究大会の趣旨を重んじるとともに、組織力のさらなる向上を目指し、次年度以降も会同での開催を基本として計画していく。

1 研究主題

「自ら未来を拓き、ともに生きる豊かな社会を創る日本人の育成を目指す学校教育の推進」
～ふるさとに誇りと愛着をもち ともに未来社会の創造に挑戦する空知の子どもを育てる学校経営～

2 研究主題設定の趣旨

- (1) 空知校長会では、研究基本構想『第 7 次 3 か年計画』（令和 5 年度～）を策定し、研究の継続性を踏まえ、第 7 次 3 か年計画における研究主題としている。
- (2) 子ども一人一人の能力を伸ばし、来るべき社会の担い手として必要とされる基本的な資質・能力を育む学校経営を推進するため、校長としてのリーダーシップの在り方を求め、空知を愛する子どもを育てる学校経営を力強く推進する本研究主題を設定した。
- (3) 今年度は、第 67 回北海道小学校長会教育研究空知・岩見沢大会のため、管内全体としての研修 11 月まで中断し、以降、2 年次目の研修を再開していく。

3 研究内容

- (1) 令和 6 年度の研究について
管内全体としての研修中断する 11 月までは、ブロックや地域・各学校での主体的な研修を中心に進め、11 月から令和 7 年度以降の研究を本格化させる。
- (2) 研究協議題及び主題
第 1 分科会協議題 《学校経営》 主題：創意と活力のある学校経営ビジョンの実現
第 2 分科会協議題 《教育課程》 主題：質的向上を目指すカリキュラム・マネジメントの実現
第 3 分科会協議題 《指導・育成》 主題：教職員の資質向上を担う協働体制の実現
第 4 分科会協議題 《危機管理》 主題：安全・安心を目指す学校の実現
第 5 分科会協議題 《教育課題》 主題：自立と共生に向けた教育活動の実現
- (3) 各種校長研究大会や研究団体等の研修会への参加と協力
全国、全道レベルの研究大会への積極的な参加を通して、管内教育への成果還流を図り、学校経営に資するものとする。また、各種研修会への支援、協力を行うことで、なお一層の管内教育の充実を図る。

4 研究推進計画

- 令和 5 年 11 月
～令和 6 年 10 月 各ブロック・地域・学校単位での主体的な実践研究の推進
- 9 月～10 月 全国、全道研究大会への参加（成果還流）
- 10 月 研究活動の反省と総括
- 11 月 新たな研究活動のスタート（研究基本構想『第 7 次計画 2 年次』）

5 研究組織

- ・空知校長会研修・情報部（担当副会長・部長・副部長・部員）を核にした研究推進体制
- ・地区を 15 の研究ブロックで構成し、5 つの主題の下、3 地区を合わせた共同ブロックにて研究を推進

6 その他

研究大会は、その趣旨を重んじるとともに、組織力のさらなる向上を目指し、会同での開催を基本として計画する。